

委員会レター 大会企画委員会

大会企画委員会は、東京都公文書館の会長・事務局を中心に、現在は3人の委員で構成しています。会長は永野良隆初代会長のあとをうけた田口素東京都公文書館長、事務局には水野保・荒木志郎の両氏があたってくれています。委員は千葉県佐倉市の高橋健一氏、東海大学資料室の日露野好章氏、埼玉県立文書館の太田富康です。(1996年3月31日現在)

本委員会はその名のとおり全国大会を所掌する委員会ですが、単に「企画」だけにすまざず、準備・運営といった裏方全般を行うという意味でその名のとおりではありません。委員会制度以前には、運営委員会の大会企画担当が研究会の企画・運営を、事務局が開催県とともに連絡調整や運営全般にあたってきましたが、本委員会はこの両者を担うことになったわけです。強力な事務局メンバーに支えられているとはいえ、前記のような小人数で「企画」と「運営」をこなしていくため、ほぼ毎月の会議や開催県との打合せ等を繰り返しています。

とはいえ、私達は大会を開催するにあたってのほんの一部を担っているにすぎません。昨年の和歌山大会では、開催県・事務局・報告者・司会・記録・災害対策小委員会・近畿部会・研究研修委員会・編集出版委員会・国際交流委員会・刊行物展示出品機関・協賛展示企業といった実に多くの方々が企画運営にあたってくださいました。いわゆる「関係者」はゆうに50人を越えています。私達の委員会は、これらの人々のパイプ役といった仕事になるでしょうか。

いま、私達は10月の秋田大会に向けて準備を始めたところです。運営委員会から引き継いだテーマの実現に全勢力をかければよかった昨年とは違い、本委員会で企画の最初から考えていくこととなります。全国大会は文字通り、全国の会員が一堂に会して議論する貴重な場です。

私達わずかな人数の委員会だけで企画・運営を進めていけるようなものではありません。すべての会員の協力があってこそ成功するものです。秋田大会への皆様のご協力をお願いして、今回のレターの締めくりにしたいと思います。どんな形でもかまいません、報告をしたい方、協力のいただける方、ご意見のある方、ぜひ、ご一報を。

(太田富康 埼玉県立文書館)

会員異動 (1996年1月～3月)

1 入会

【機関会員】 なし

【個人会員】 なし

2 退会

【機関会員】 なし

【個人会員】 松尾隆一 (3月31日付)

(会員数)	機関会員	1 5 1	
	個人会員	2 4 0	
	計	3 9 1	

(1996年3月31日現在)